

デジタルを身近に 学んで広がる便利な暮らし



最近よく耳にするDX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を使って毎日を便利にしていくこと。普段使っているスマートフォンも、こうした便利を実現するためのデジタル機器の1つです。

市では、高齢者がスマホを使うための支援を行っています。まずはスマホからDXに触れてみませんか。

問合 みらい創生室／Tel674-7392

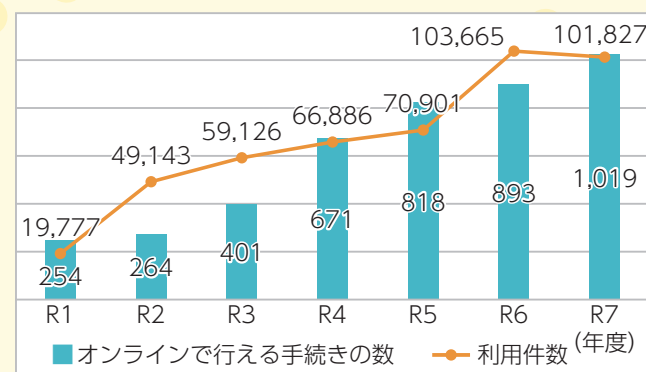
ID 184804

市の手続き環境もデジタル化の時代へ

市の約1,000種類以上の手続きが自宅にしながらスマホやパソコンなどを使って、オンラインで手続きが可能になっています（右図）。

便利さに加え、仕組みや安全性の理解が進んだことで、オンラインで手続きする人が増加傾向（右図）に。市民の利便性をさらに向上させるため、市はオンライン化の充実など、デジタル市役所の取り組みを推進しています。

市のオンライン手続きの利用状況



選ばれるオンライン手続き

施設利用や図書貸し出しの予約など、生活に身近な手続きでオンラインの利用が人気。外出の負担が減り、好きな時間に手続きできる便利さが選ばれているようです。

高齢者の利用も増えています

スポーツ施設の予約に



文化施設の予約に



図書館の貸し出し予約、電子書籍の利用にも



時間を上手に使って便利に

申請や支払い、相談までスマホでできることが増えています。

DXを味方にすれば、時間を上手に使った快適な暮らしにつながります。

オンラインで自宅から相談

便利でいい



キャッシュレスで現金不要

混雑状況が分かる



時間節約にも

好きな時間に手続き

高齢者の慎重さはDXと相性がいい力

スマホを使って、高齢者が情報社会を楽しむためのヒントを専門家に伺いました。

進歩する情報社会を楽しもう

これまで情報はテレビや新聞を待つしかありませんでしたが、今はスマホを開けばその場で調べられる時代になっています。

しかも無料で、必要なだけ情報を扱える。こうした情報社会で生活できるのはラッキーなことです。

情報を自分で選び取れるようになったことで、暮らしの組み立て方が変わりました。例えば、天気の詳細な変化を自分で確認して外出のタイミングを決めたり、混雑状況を見て病院や娯楽に出かける時間を調整したりと、日常の判断が自分のペースでできるようになりました。

また、スマホは生活の楽しさも広げてくれます。地図アプリで行きたい場所を探したり、旅行先で近くの店を調べたり、孫の写真を受け取ったり。スマホを上手に使うことで、生活も便利で豊かになっていきます。

暮らしの安心を強化

高齢者が安全で安心な暮らしをする上で、情報社会の進化は追い風になっています。

長い人生の中でリスクを避ける判断が身に付いてい

る高齢者は、安全を守る情報へのアンテナがとても高いです。偽情報や詐欺などの警戒情報をいち早く入手し、地域で共有するのもスマホは役立ちます。実は高齢者こそスマホを使うメリットが多く、DXと相性がいいのです。

同世代の声が挑戦を後押し

新しいことに慎重になりがちな人も、同世代の体験を聞くと、ハードルが下がります。

地域のお茶会で、住民同士が「デジタル商品券の手続きをして得した」「それってどう使うの」などと自然に話が盛り上がれば、自分もできるかもしれないという気持ちが湧いてくるものです。

市のスマホ教室のように、安心して学べる機会があるのも心強いです。仕組みや安全性が理解できれば、慎重になっていた気持ちも、安心に変わっていきます。

同じ世代が学んでいる様子を知って、前向きに自分のペースで進んでみてください。

スマホ教室の情報は次ページ



追手門学院大学
理工学部 情報工学科
教授 駒谷昇一さん

